



# 物流ニッポン

2008年(平成20年)

6 | 2 (月)

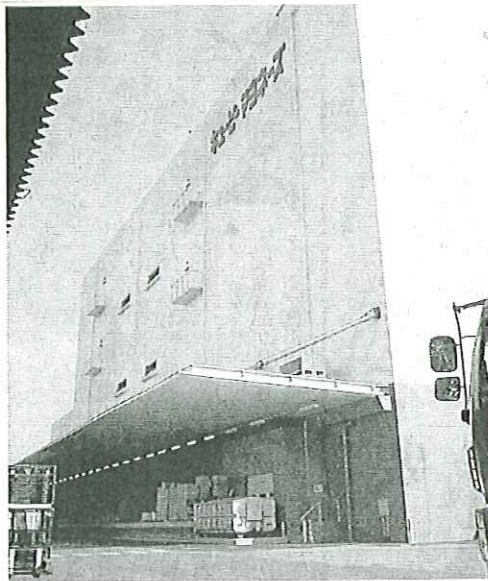
発行/月曜日・木曜日 第3137号

購読料/半年32,130円(月額5,355円、税込)

©物流ニッポン新聞社 2008 (昭和44年4月1日第三種郵便物認可)

## 鳥栖営業所を増改築

### KRS QRコードで商品管理



定温倉庫を新設するとともに、温度管理設備を入れ替え、品質管理を向上＝提供写真

【大沢瑛美子】キューセ、自社初となるQRコードを削減を図る。ソール流通システム(KRS)を用いた商品管理を、同営業所は、キューセは鳥栖営業所(佐賀)スタートさせた。記憶容量の大きいQRコードを州のハブ倉庫。老朽化が了し、一日から営業を開始。本格稼働に合わせた日付管理と誤出荷の撲滅、従来の一・三倍に増

改築した。増床後の延べ床面積は七千六百六十五平方メートルで、うち常温倉庫五千三百三十七平方メートル、定温倉庫(七氏一〇二〇度)六百三十五平方メートル、冷蔵倉庫(〇―〇度)九百十九平方メートル、冷凍倉庫(マイナス十八度以下)七百七十四平方メートルとなっている。

定温倉庫を新設するとともに、温度管理設備を入れ替え、品質管理を向上した。さらに、立体自動倉庫も七億二千万円を投資して設置。保管能力は二十二万四千五百ケースで、自動倉庫分は二万五千ケースとなる。トラックパースは五か所を備える。

商品管理には、新たにラベル添付や検品時などに委託していた商品を集約する。その上で、キューセ以外の商品も幅広いの工場から出荷されたため、容易で確実な商品管理が可能となる。三百六十度全方向から読み取りが行え、

KRSでは「増床部分には、これまで外部倉庫としていた商品を集約する。その上で、キューセ以外の商品も幅広いの工場から出荷されたため、容易で確実な商品管理が可能となる。三百六十度全方向から読み取りが行え、

後物物流品質の向上と業務効率化の観点から、設備投資を実施していく」